

組織知能研究と OR

01700910 東京理科大学 山田善靖 YAMADA Yoshiyasu

1. はじめに

「組織知能」は 1987 年に故松田武彦先生によって初めて提唱された概念である。松田先生は「一人一人の人間はそれぞれ知能を持っている」と考えられているように「人間の集団で作る組織もそれぞれの組織で固有の知能を持っている」と考えることによって「組織」を新しい視点から分析する方法を提案したのである。「知能の高い人間を集めて作った組織」は「あまり知能の高くない人間を集めて作った組織」よりも「知的な行動を取る」わけではないことは良く知られている。「組織が知的な行動」をとらせるために「組織を構成するメンバー」をどのように組織化し、どのようにマネージし、どのように評価するのが良いのかは「個人の知的な行動」を促すのとは当然異なるはずであろう。松田先生はそのような問題意識から「組織知能」の研究をはじめたのであろうか。さらに松田先生の提唱する「組織知能」は研究初めから常に IT の利用によって「組織の知能」を高める方法を検討することを含めている。

一方、経営問題解決に OR の考え方を適用する方法が OR の分野では長く検討されてきた。OR は狭い意味で解釈するならば社会や経営などの現象を何らかの方法で数理的にモデル化し、最適解を求めることかもしれないが、広く OR を解釈し、経営問題の解決に役立てることを考えるならば「経営問題を科学的に分析し、解決案を導く方法」と OR を定義しても良いだろう。

その意味では松田先生は「経営組織にはそれぞれ個別な組織知能が存在その解明には組織知能の特性を体系化すること」が重要と考えたのであろう。以下に松田先生の組織知能研究から現在に至る研究の方向を検討する。

2. 「組織知能」の定義

松田先生は組織知能の定義をいろいろな方法で行っている。例えば企業の経営には現在まで急速に発展し続けている IT の活用が必要不可欠であることを強調するために「組織知能」を次のように定義している。「組織知能」とは「組織の持つ人間知能 (human intelligence) と機械知能 (machine intelligence) の交絡 (相互作用)・集積・統合の複合体」と定義している。また「組織知能」を高める方法と高められた組織知能を使い経営に役立てる方法を分けて論じる必要性を強調して、「組織知能」を「プロセスとしての組織知能」と「プロダクトとしての組織知能」に分類している。

3. 組織知能研究の流れ

組織知能研究は松田先生がご健在の時代とその後では大きく異なると考えている。

(1) 1987年—1995年

この時代は松田先生が組織知能について多くの論文を発表していた時代である。最初は「組織は固有の知能を持っている」という考えからはじまった分析も次第に「組織知能：概念、理論的、方策的研究」に進み、さらに後半では先ほど述べたように「プロセスとしての組織知能」と「プロダクトとしての組織知能」を分化し研究を進めるようになってきた。さらに組織の持っている能力として組織三能を松田先生は提案している。組織三能とは組織知能、組織情能 (organizational sentience)、組織意能 (organizational volition) への配慮の必要性を論じている。さらに組織三能の配列を決めるものとして組織心景 (organizational mindscape) の概念を提示している。しかし、松田先生の研究の中心は「組織知能」そのものであった。

(2) 1995年以降

松田先生の「組織知能」研究発表以後私たちの「組織知能研究」は暗礁にのりあげたが、その後もう一度、IT を活用して企業経営を成功させている企業の事例を研究して、「組織知能」がどのように企業経営に働いているかを研究しようという方向に研究方向が変わってきた。従って、我々の組織知能研究はIT活用事例研究に移ってきている。一方直接的ではないが野中郁次郎先生の「組織的知識創造理論」をつくるなかで松田先生の「組織知能」の考えを〔注〕に記している。また、藤本隆宏先生は組織の知能を含めて「組織の能力構築力」について論じている。以上のように我々の研究は多様な方向に進みつつあるが、もう一度「組織知能」に焦点を当てた研究が求められているのかもしれない。

参考文献

- [1] 松田武彦：情報技術同化のための組織知能パラダイム、組織科学、Vol. 23, pp16-33, (1990)
- [2] 松田武彦：経営情報学の過去・現在・未来、日本経営情報学会誌、Vol. 1, No. 1, (1991)
- [3] 野中郁次郎：知識創造の経営、日本経済新聞社、(1990)
- [4] 藤本隆宏：能力構築競争、中公新書、(2003)
- [5] Joy Liebowitz: Building Organizational Intelligence-A Knowledge Management Primer CRE Press, (2000)
- [6] Jean-Louis LE MOIGE: The " Second Principle" of Organizational Engineering: The General Intelligent Action Principle, Proceeding of CEMIT, pp33-37, (1992)